

令和元年度事業報告書

I. 事業の概要

昭和聖徳記念財団は、昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、昭和天皇記念館の管理運営を行うとともに、学術研究への助成、青少年の健全育成及びご事績に関する講演会の開催や出版等の事業を行うことを目的としている。

当財団創設以来の念願であった昭和天皇記念館は、平成14年4月、国土交通省において、昭和天皇ご在位50年記念事業の一環として整備を進めてきた国営昭和記念公園「みどりの文化ゾーン」内の「花みどり文化センター」の一部に設置することとされ、その展示運営については、当財団の協力を得ることと決定された。当財団としては、これを受けて「花みどり文化センター」の一郭に展示施設としての内装を整え、宮内庁をはじめ、(独)国立科学博物館筑波研究資料センター、NHK放送博物館などの協力を得て、平成17年11月27日、昭和天皇記念館を国営昭和記念公園の「みどりの文化ゾーン」の開園と併せ開館し、平成27年に開館10周年を迎えた。

また公益法人制度改革三法が施行されたことに伴い平成23年3月23日公益認定を受け、同年4月1日に公益財団法人へ移行した。

令和元年度も事業計画に沿って、昭和天皇記念館の展示内容に一層の工夫をこらし運営の改善に努め、昭和天皇のご事績を後世に伝えるため、記念館以外の諸事業についても、内容の充実に努めた。

1. 公益目的事業

(1) 昭和天皇記念館の管理運営事業 33,473千円

昭和天皇記念館は、昭和天皇のご聖徳をたたえそのお人柄をお偲びするとともに、後世にそのご事績を伝えつぐことを目的として開設した。

昭和天皇並びに香淳皇后のご遺品や映像などの展示により昭和の時代を顧みるとともに、昭和天皇の御心とお姿を一人でも多くの方に知っていただくため、令和元年度においては、平常展示「昭和天皇87年のご生涯」及び「昭和天皇の生物学ご研究」のほか、企画展示として平成31年1月2日から令和元年9月1日まで「昭和天皇と皇室ご一家」の写真展を開催、その後は同年9月6日から昭和天皇の儀式用の御装束と昭和天皇・香淳皇后の和洋装をご紹介する「昭和天皇・香淳皇后の御服」展を令和2年9月6日までの予定で開催している。

なお新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から同年2月28日以降臨時休館としたが、令和元年度の入館者数は、対前年度24.9%増の16,398名(うち有料入館者は15,015名)で、平成17年11月27日の開館以降の累計入館者数は318,828名となった。

※【記念館管理運営事業収入 5,848千円】

※【書籍頒布事業収入 230千円】

(2) 生物学、医学等の学術研究への助成 2,236千円

昭和天皇は、皇居内の生物学御研究所で、ご公務の合間にご研究を続けられた。ご専門は変形菌類、海産動物のヒドロ虫類の分類学的研究だった。また那須や須崎の御用邸、皇居の周辺などでも、植物の調査・研究をお続けになられた。著書も多く出版され、業績は国際的に高く評価されている。

学術研究への助成は、平成3年度から、生物学に関する世界的学究者としての昭和天皇の研究分野(系統分類学)及びそれに関する生物学分野の研究を奨励し、学術研究の推進・発展に寄与することを目的として行い、平成30年度までに94件(応募件数は1370件)の助成を行った。令和元年度も引き続き動物・植物における系統分類学の研究を対象として公募、応募件数56件(動物関係43件、植物関係11件、その他2件)の中から学術研究助成委員会で審査の結果、次の3氏が助成対象候補として選ばれた。令和2年3月3日開催の理事会で承認され、事務局から学術研究助成金交付証が送付された。

田近 周 アメリカ自然史博物館古生物学部門博士研究員

【現生オウムガイ類の表現型可塑性の解明と化石種の分類への応用】

吉田隆太 お茶の水女子大学湾岸生物教育研究センター特任助教

【東京湾および相模湾産寄生性蔓脚類の分類学的再検討】

井上侑哉 広島大学大学院統合生命科学研究科助教

【コケ植物セン類センボンゴケ科のゲノム系統学的展開】

(3) 昭和天皇のご事績普及に関する事業の実施 15,545千円

①ご事績に関する事業 219千円

昭和の日を記念して昭和天皇のご遺徳を偲び、ご事績を後世に伝えるため、平成31年4月29日、国営昭和記念公園内において講演とビデオ上映会を行った。日本テレビの「皇室日記」を長らく担当した久能靖氏による講演「昭和天皇の思い出と新しい皇室」と「天皇皇后両陛下障害者にお心を寄せて」のビデオ上映を行った。

御陵参拝は昭和天皇のご命日にあたる1月7日実施、さらに昭和天皇・香淳皇后の御陵をはじめ東京豊島岡の皇族方の御墓清掃等の陵墓勤労奉仕を行った。

②新聞「昭和」発行事業 9,903千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、ご事績を後世に伝えるため、新聞「昭和」を平成元年6月から発行、平成7年度からは一般財団法人日本宝くじ協会より助成を受けている。新聞「昭和」では、昭和天皇、昭和の関連記事及び昭和天皇記念館の展示内容、さらには現皇室のご動静記事も掲載している。

令和元年度においても、引き続き新聞「昭和」(年6回、各20,000部)を発行し、記事の内容の充実に努め、各所に配布した。

※【日本宝くじ協会助成金収入 6,539千円】

③昭和天皇御製カレンダー製作事業 5,423千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、宮内庁の許可を得て平成6年から「昭和天皇御製カレンダー」を製作、贈呈頒布している。

令和元年度においても、引き続き昭和天皇のご遺徳、御製を広め伝えるため、令和2年版「昭和天皇御製カレンダー」（8,500部）を製作、贈呈頒布した。

※【御製カレンダー頒布収入 5,016千円】

事業費合計 51,254千円

※助成金等収入 −17,633千円

33,621千円

2. 収益事業

昭和天皇記念館MS事業 6,088千円

昭和天皇記念館において、入館者のために記念となる品々の頒布を目的としたミュージアムショップの事業を営んだ。

※【記念館MS収入 7,923千円】

II. 主要な人事

令和元年

- 6月21日 大給 乗龍氏 理事重任
- 廣瀬 道男氏 理事重任
- 打田 文博氏 評議員重任
- 北川 治男氏 評議員重任
- 熊坂 隆光氏 評議員重任
- 田中勇一郎氏 評議員重任
- 寺島 泰三氏 評議員重任
- 百武 伸茂氏 評議員重任
- 山崎 一紀氏 評議員重任
- 四ッ倉偉隆氏 評議員重任
- 杉 徳昌氏 評議員就任
- 大久保利泰氏 評議員退任

III. 主要な会議

1. 理事会の開催

○第22回理事会

日 時 令和元年6月4日(火) 14:00～14:45

場 所 砂防会館 別館蔵王会議室

理事現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

理事出席9名、監事出席2名、同席者1名

議 事 第1号議案「平成30年度事業報告書の承認」の件
第2号議案「平成30年度財務諸表の承認」の件
第3号議案「第18回評議員会(定時)招集」の件
第4号議案「理事候補者推薦」の件
第5号議案「評議員候補者推薦」の件

報告事項(1) 基本財産等の運用について

(2) 昭和天皇記念館の状況について

○第23回理事会

日 時 令和2年3月3日(火) 14:00～14:45

場 所 砂防会館 別館特別会議室

理事現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

理事出席10名、監事出席2名、同席者1名

議 事 第1号議案「令和元年度学術研究に対する助成事業承認」の件
第2号議案「令和2年度事業計画書の承認」の件
第3号議案「令和2年度収支予算書の承認」の件

第4号議案「第19回評議員会(定時)招集」の件
報告事項(1)基本財産等の運用について
(2)昭和天皇記念館の状況について

2. 評議員会の開催

○第18回評議員会

日 時 令和元年6月21日(金) 14:00~14:50

場 所 砂防会館 別館特別会議室

評議員現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

評議員出席10名、監事出席2名、理事出席3名、同席者1名

議 事 第1号議案「平成30年度事業報告書の承認」の件

第2号議案「平成30年度財務諸表の承認」の件

第3号議案「理事選任」の件

第4号議案「評議員選任」の件

報告事項(1)基本財産等の運用について

(2)昭和天皇記念館の状況について

○第19回評議員会

日 時 令和2年3月16日(月) 14:00~14:40

場 所 砂防会館 別館特別会議室

評議員現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

評議員出席9名、監事出席2名、理事出席3名、同席者1名

議 事 第1号議案「令和元年度学術研究に対する助成事業承認」の件

第2号議案「令和2年度事業計画書の承認」の件

第3号議案「令和2年度収支予算書の承認」の件

報告事項(1)基本財産等の運用について

(2)昭和天皇記念館の状況について

IV. 会員の状況

令和2年3月31日現在会員数

個人会員 572人

法人会員 37社

賛助会員 37件

個人終身会員 3,542人

法人永久会員 27社

計 4,215

《 附属明細書 》

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。